

予算等審査特別委員会

というものである。株1万円以上を対象とし、百万円を上限とするものである。現在のところ8件程度の申し込みを想定している。ア

スト事業には、チャレンジ100事業と元氣アップ事業の2種類がある。前者は、

アストが誘導する事業であり、後者は農家が自発的に

行う事業に支援する事業である。1ハウスに7百万円

もかかる事業であり、補助金百万円は高いものではないと判断している。景気浮

揚対策としては雇用の確保が重要であり、アスト

としても新たな挑戦をしていくことが大切だと考えている。

緊急雇用創出について

問 最近の失業者数と、緊急雇用創出事業による雇

答 約300名近い方が失業

され、緊急雇用創出事業による雇

用者数は、平成21年度補正を合わせて約130名と

なっている。
問 失業者全体の雇用が確保されて

いないがその対策は。
答 国では、今回の補正

予算で3つの柱による景気対策を練っている。

一つ目は、地域活性化経済危機対策臨時交付金。

二つ目は、地域活性化公共投資臨時交付金。

三つ目は、公金による基金造成をして雇用を確保

するということであり、当市としてもこの3つの柱を

ケーブルテレビへの加入状況について

問 平成23年から地上デジタル放送に完全移行する

タ

ル放送に完全移行する組み立てになっ

ているが、市民の関心の高まりとケ

ブルテレビの加入状況はどうか。
答 平成23年7月

から地上デジタル化へ移行する。物

見山からのデジタル放送もあるが受信の

限りがあるから、市としては先進的に

ケーブルテレビを導入しているの

ので、移行を進めていきたい。現在、ケ

ブルテレビの加入状況は遠野・宮守エリアで6、749

世帯の加入状況であり、68・1%となっ

ている。今後もデジタル化に向け加入

促進を続けていきたい。
問 地域にもっと密着した

質の高い情報に期待しているが。
答 5月に視聴者より

アンケ

ット調査も実施しているが、種々の希望も寄せられ

ているので検討しながらより密着した放送に努めてい

きたい。

新型インフルエンザ対策について

問 豚から発生したインフルエンザが全世界で猛威を奮っている。遠野市での発生は幸い今のところない

が、事前の対策や発生後の対応策はどうなっているのか。
答 今年の4月にメキシコ

で新型インフルエンザが発生した。国内でも感染者が

少しづつ増加している。6月時点で国内発生は457人

で、東北、遠野市ではまだ発生していない。市では事

前対策として行動計画を各課で作成し、対応していく。

保健所でも発熱相談所を設

け、相談センターでは電話

相談も受け付けている。予防対策で一番効果があるのは



県立病院横に併設されている発熱外来